

第22回ボウリング大会を開催 (18チーム72名参加)



東京清掃労働組合
千代田区飯田橋3-9-3
TEL (3237) 9995
1部20円
編集責任 企画・総務局 田口 康乗

わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

「チーム戦」第二地連Aチームが昨年に続き優勝！

「個人戦」菊地順一さんが見事優勝！

7月6日(土)東京ドームボウリングセンターにおいて、第22回ボウリング大会を開催しました。各地連・青年部・退職者会を交えた総勢72名による熱戦が繰り広げられました。

個人戦を制したのは、2ゲームの合計で383点を挙げた菊地順一さん、大変お疲れ様でした。(萩原 崇氏)

個人戦

順位	氏名	支部	総得点
1	菊地 順一	中野	383
2	萩原 利紀	豊島	368
3	太田 英明	北	361
4	宮城 仁司	文京	350
5	星野 克彦	北	328
6	鎌野 章広	玉川	328
7	河原 陽一	江戸川	326
8	工藤 竜也	文京	324
9	吉野 隆浩	江戸川	321
10	金子 隆	台東	321

チーム戦

順位	地連	トータル
1	第二地連Aチーム	315.8
2	第三地連Aチーム	298.0
3	第三地連Bチーム	296.0
4	第五地連Aチーム	295.3
5	第四地連Aチーム	294.8



個人戦で見事優勝した菊地さん



団体戦で優勝した第二地連Aチーム



和やかな雰囲気でのボウリング大会



若さあふれる本部青年部

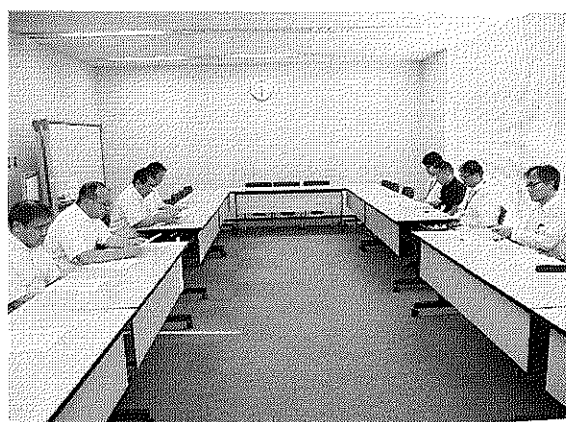


懇親会も盛り上がりしました

特別区人事委員会に対し 公民比較方法の見直しを求める

7月30日(火)わが組合は、特別区人事委員会に対して「行政系人事制度改正の院勧告前に要請を行うこと」とし、今回は公民比較方法の見直しを求める要請を行いました。

今年度については、昨年度の勧告内容を踏まえ人事院勧告前に要請を行うことと、今回は公民比較方法の見直しを求める要請を行いました。



特別区人事委員会要請 2019.7.30

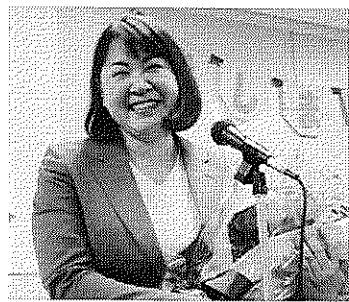
特別区人事委員会は、本年の比較方法については、人事委員会が中立的・客観的立場で給与勧告を行う地方公務員法の趣旨を踏まえつつ、特別区や区職員を取り

わが組合は、特別区人事委員会に対して引き続き行政系人事制度改正の主旨を踏まえた公民比較方法の見直しを求め、労働基本権制約の代償措置である第三者機関としての中立かつ公平な立場で自主的・主体的な勧告を行わせるためにも、本部・地連(総)支部が一体となつてがんばりましょう。(田口 康乗)

岸まきこさん

当選おめでとう!!

第25回参議院議員選挙



第25回参議院議員選挙の投票率が7月21日に行われ、わが組合は、自治労組織内候補比例代表「岸まきこ」さんの当選にむけて全力で支援してきました。新人ということもあり、大変厳しい選挙戦であり

ましたが、157、848票と立憲民主党比例代表候補の中では1位で当選を果たしました。みなさまのご協力、大変ありがとうございました。(田口 康乗)

あらゆる差別の撤廃を！

戦争体験を引き継ごう

今年度も人権啓発の取組強化を図るため、7月27日(土)にSKホールにて第1回人権啓発推進担当者会議を開催し、42名(他団体等参加者含む)が参加しました。

今回は戦争が引き起こす人権侵害・差別を学ぶため、くにたち原爆・戦争体験伝承者の二瓶治代さんより、東京大空襲時の実体験をお話していただきました。

今回は戦争が引き起こす人権侵害・差別を学ぶため、くにたち原爆・戦争体験伝承者の二瓶治代さんより、東京大空襲時の実体験をお話していただきました。



実体験を語る二瓶さん



市川さんからは条例を説明

また、最後には「戦争だけはしない日本、戦争に終わらない日本であってほしい」とおっしゃっていました。人権侵害・差別の裏側には優しさと思いやりがあり、平和が大切なことも改めて学びました。

講話後には、国立市役所の平和・人権・ダイバーシティ推進係の市川さんより、「国立市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例」について説明を受けました。これは全国で初めての条例で、川崎市での条例制定に向けた取組にもつながっているようです。(萩原 崇氏)

清掃・人権交流会第21回総会

人権啓発推進担当者会議終了後、清掃・人権交流会の総会が開催されました。押田会長からは「労働組合が社会の中で人権の問題にどう取り組むか、戦争ができる国づくりの対抗する考えなければならぬ」とあいさつがあり、中里委員長、部落解放同盟東京都連、全芝浦と場労働組合より来賓あいさつを受けました。

坂部事務局長より活動報告・会計決算報告を受け、全体で確認した後、郡司副会長からは「二瓶さんの話を安倍首相に聞かせたい」と述べられてから、活動計画(案)を熱い思いで提起し、会計予算(案)とともに満場一致で確認されました。

最後に2019年度役員体制が報告され、押田会長の団結がんばろうで終了しました。(萩原 崇氏)



主催者あいさつをする押田会長

今回で最後となるとことん討論会



環境問題は身近で大事な課題！

7月24日(水)、第24回東京23区とことん討論会が渋谷区「美竹の丘」で開催されました。

はじめに芳賀実行委員長より「とことん討論会は、今年度で最後の開催とす

23年間取組んできた環境問題の総括ができる討論会としていきたい。」とあいさつを受けました。次に、共同通信社の井田徹治論説委員から「海洋プラスチック汚染の解決策！」というテーマで基調講演を受けました。レジ袋・ペットボトル

ル・食品包装容器などがごみとして海まで流れてしまふことが多いのですが、「レジンペット(直径数ミリのプラスチック粒子)」がプラスチック汚染を深刻化しており、更にはレジンペットより粒子が小さい「マイクロプラスチック」が河川を通じて海へ流入し、海生物に多大な影響を与えているとの説明を受けました。容器包装リサイクル法は「自主的な取組」であるため、求められるのは企業間の意識改革と消費者のライフスタイルの改革が重要であるとして講演が終了しました。午後は二つの分科会に分かれて討論が行われま

した。第二分科会では「23区のごみ問題の核心とは」をテーマとし、中里委員長から「ごみは社会を映し出す鏡」と題した23区清掃事業全体を取り巻く課題について報告がされました。

本討論会は23年間継続して行われて来たこともあり、主催者及び参加者の高齢化が進んでいました。しかし、中には、はじめて参加する方も3割ほど見受けられ、本討論会はまだまだ関心が高い証拠であると感じました。主催する立場の困難性は十分理解しつつも、本年度で終了することに残念です。(西村 好勝)

第二地連宿泊学習会を開催

第二地連は7月6日(土)〜7日(日)にかけて、埼玉県草加市「埼玉屋旅館」において宿泊学習会を開催しました。本部役員・担当中執・地連役員・各支部参加で31名の参加がありました。

1日目は原田議長のあいさつで始まり、泉田常任中央執行委員より「都と区の財政関係」について講演をいただきました。

2日目は西村副中央執行委員長より「一組清掃工場をめぐる現在の状況と課題」についてDVD(清掃工場編)を視聴してから講演をいただきました。

最後に私(東海林事務局



粘り強い交渉の強化を！

第一地連新たに遠藤議長就任

6月29日(土)中央支店において第一地連年次総会を開催しました。地連を代表して笠原議長、本部を代表して倉貫常任中央執行委員からそれぞれあいさつを受けました。一年間の活動報告をおこない、議事である第一号議案の運動方針(案)・第二号議案の予算(案)は満場一致で採択されました。

6月29日(土)中央支店において第一地連年次総会を開催しました。地連を代表して笠原議長、本部を代表して倉貫常任中央執行委員からそれぞれあいさつを受けました。一年間の活動報告をおこない、議事である第一号議案の運動方針(案)・第二号議案の予算(案)は満場一致で採択されました。

W杯(こと)

日本人サポーターが試合後のスタジアムをきれいにして帰ったことが海外のメディアに取り上げられ「日本の教育と礼儀を見せた」と称賛しました。「東京がキレイな理由が分かった」という声もありました。

2014年のW杯ブラジル大会後には、リオデジャネイロ州政府環境局が日本人サポーターのごみ拾いを称えて現地の日本総領事館などを表彰したという。しかし、素晴らしいのは彼らであって、悲しいことにすべての日本人がマナーを守ることができていたわけではない。現にW杯試合後の渋谷では、ハイタッチによる通行止めや、ごみのポイ捨てが問題になりました。来年には東京オリンピックが開催されます。ホスト国としては、海外から訪れた人に少しでも日本と東京を知ってもらい笑顔で帰ってほしい思いがあります。その思いが、「おもてなし」という単語に集約されているように思います。自分たちが騒いで楽しむだけではなく、日本特有の「おもてなしの心」で、海外の方々に気持ちよく迎えようとする機会にしようではありませんか。(目黒区担当中執 須山真吾)